

事務事業名	慶弔管理事務	事務事業No.	811 - 24
-------	--------	---------	----------

1. 基本情報						
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
総務部	秘書課	秘書係	主事	太田 朱里	課長	関 敏幸
施策体系	総合計画	政策	8	その他		
		施策	1	その他		
		基本事業	1	その他		
	その他の計画	個別計画	-			
根拠法令・条例・要綱等	なし（内部規定：飯塚市長交際費の支出及び情報公開に関する基準）					
事業開始年度	-	事業終了年度	-	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	-	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	円滑な市政運営を目的に、市長が市の代表として、外部の関係者や関係団体との交際・交渉を行う際に要する経費。社会通念上適正な範囲内において、必要最小限の支出に努めている。					
対象	働きかける相手・もの	市政に功績のある関係者及び市政運営上、交際・交渉を必要とする関係団体				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	祝電・メッセージの送付及び祝儀・香典・生花等の支出				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	関係者・関係団体に対し、市からの敬意を示し、適切な関係性の維持を図る				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
提供件数	件	電報発送件数+交際費支出件数	224	293	400

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
対象件数	件	-	400	400	400
説明	方向性	達成目標年度	実績	224	293
	維持	-			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

経費区分	一般会計	義務的経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費	
	大 99 その他一般管理費	中 31 慶弔管理費【義務】	他 0 事業		
投入人員 (当該事務事業に 対して1年間に投 入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由 (10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.30 人 2,343	0.30 人 2,384	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、前年度より各種式典や祝賀会等の案内が増加し、祝電・祝儀等の交際費の支出増によるもの。	0.30 人 2,384
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	会計年度 1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計 (A)		2,343	2,384		
事業費	直接事業費 (B)	517	894		
	総事業費 (A+B)	2,860	3,278		3,013
直接事業費のうち の主な歳出内訳	交際費	434	787		2,850
	通信運搬費	73	103		145
	使用料・手数料 (受益者負担分)	0	0		0
財源内訳	国・県支出金	0	0		0
	市債	0	0		0
	一般財源	2,860	3,278		5,397
	その他 ()				

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	円滑な市政運営のため、市が主体的に関与する必要がある、適宜対応が必要な業務である。交際費支出基準に基づき、公平性を以って支出している。
効率性 評価	高い	交際費支出基準を定め、効率的に事務処理を行っている。
有効性 評価	高い	市の業務が、円滑に遂行されるとともに、関係者や関係団体との適切な関係性の維持に寄与している。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	引き続き交際費支出の決定にあたって、支出基準に照らし社会通念上妥当な範囲内とし、極力必要最小限の支出に努める。 交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
各案内について、支出基準、他の事例、近隣他市の状況を確認する等、必要性を精査し適正な支出を行った。			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、前年度より各種式典や祝賀会等の案内が増加し、祝電・祝儀等の支出も増加したが、各案内について、支出基準、他の事例、近隣他市の状況を確認する等、必要性を精査し適正な支出を行い、円滑な市政運営に寄与した。
【課題】	社会通念上適正な範囲内において、交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	【理由】 円滑な市政運営を目的に、市長が市の代表として、外部の関係者や関係団体との交際・交渉を行う際に要する経費であり、成果を求めるものではないため。
現状維持	
コスト投入の方向性	【理由】 社会通念上適正な範囲内において、交際・交渉上、必要最小限の支出に努めているため。
現状維持	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	引き続き交際費支出の決定にあたって、支出基準に照らし社会通念上妥当な範囲内とし、極力必要最小限の支出に努める。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「成果の方向性」「コスト投入の方向性」ともに1次評価のとおりとする。 ・近隣自治体だけでなく、全国の同規模自治体の調査を行った上で、慶弔規定の見直し検討を行うこと。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	
	現状維持	